

# 校長＝学校図書館長におすすめる本


2018/11/12

書名、編著者、出版社、発行年、本体価格

表紙画像

内容(目次)

推薦

<p>『学校図書館基本資料集』</p> <p>野口 武悟/編 全国学校図書館協議会/監修</p> <p>全国学校図書館協議会 2018 2,700円+税</p>		<p>1 法規・基準、 2 学校図書館の役割・機能、 3 学校図書館の職員、 4 学校図書館の施設設備、 5 学校図書館のメディア、 6 学校図書館メディアの組織化、 7 学校図書館の教育活動</p> <p>○資料 「学校司書のモデルカリキュラム」 「学校図書館ガイドライン」 「次期学習指導要領」(抄) 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第四次)</p>	<p>SLA</p>
<p>『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック 解説編』</p> <p>堀川 照代/編著</p> <p>悠光堂 2018 1,500円+税</p>		<p>1章 学校図書館の目的・機能 2章 学校図書館の運営 3章 学校図書館の利活用 4章 学校図書館に携わる教職員等 5章 学校図書館における図書館資料 6章 特別支援学校の図書館 7章 学校図書館の施設 8章 学校図書館の評価 資料</p>	<p>SLA KY HA KN</p>
<p>『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック 実践編』</p> <p>堀川 照代/編著</p> <p>悠光堂 2019 1,500円+税</p>		<p>Q&amp;A 1～39 Q1 館長としての校長にはどんな役割があるか。 Q2 校長は、具体的にどうすればリーダーシップを発揮したことになるか。 Q3 学校運営組織に学校図書館をどう位置づけるか。 Q4 学校図書館にはどのような計画が必要か。 Q12 「主体的で対話的な学び」に学校図書館はどう対応するか。 Q15 探究的な学習にどう支援するか。 実践事例 1～22 1 スタートは共通理解を図る全教職員研修 2 協働意識を向上させる学校図書館経営案作成 資料</p>	<p>SLA KY HA KN</p>
<p>『学校図書館の教育力を活かす 学校を変える可能性』</p> <p>塩見 昇/著</p> <p>日本図書館協会 2016 1,600円+税</p>		<p>1章 学校に図書館を設置すること 2章 高まる学校図書館への期待 3章 図書館のはたらきを備える学校 4章 学校図書館の教育力 5章 教育力の7項目を個別にみる 6章 教育力を活かせる要件 7章 これからの学校づくりと学校図書館 教育力を活かした学校図書館づくり 課題と展望</p>	<p>KN</p>
<p>『学校図書館の出番です!』</p> <p>肥田美代子/著</p> <p>ポプラ社 2017 1,800円+税</p>		<p>1.居心地のよい図書館 2.学習指導要領と授業の改革 3.先人たちからのメッセージ 4.近代公教育へのスタート 5.社会生活と学校をむすぶ教育 6.広い視野に立つ『学校図書館の手引』 7.政治に泣かされた学校図書館法 8.司書教諭の配置までの遠い道のり 9.すばらしい学校図書館法 10.言語力はすべての教科の基盤である 11.読解力授業は日本の教育を変える 12.学習指導要領と学校図書館 13.未来志向型の人づくり 14.読書教育で子どもを育てる 15.「学校司書」は校長の指揮・監督下にある教職員 (対談)片山善博教授と学校図書館を考える</p>	<p>KN MO HN</p>
<p>『子どもの人権と学校図書館』</p> <p>渡邊 重夫/著</p> <p>青弓社 2018 2,000円+税</p>		<p>第1章 子どもの学習権を保障する学校図書館 ・「本の中の言葉」がほくの「味方」に ・学校図書館と「教育を受ける権利」(憲法第二十六条) ほか 第2章 学校図書館と子どものプライバシー—「貸出記録」を軸に ・内心とプライバシー ・プライバシーの権利 ほか 第3章 学校図書館とレファレンスサービス —子どもの「知りたい」に応えたい ・図書館資源の社会的共有—レファレンスサービスの重要性 ほか 第4章 「学び方の学び」と学校図書館 —「コベル君」、何が正しいかを自ら考え、判断する ・「自ら考え、判断する」 ・「学び方の学び」—学びの質的転換を生み出す ほか</p>	<p>KN</p>